

乳製品需要等情報交換会議（概要）

日時：平成 31 年 1 月 30 日（水） 13:30～14:40

場所：農林水産省生産局第 1 会議室

主な意見：

（全国消費者団体連絡会）

- ◆ TPP や EPA により輸入品が消費者には安く供給されると思われるが、生産者に影響しないかが懸念される。

（東宗谷農業協同組合）

- ◆ 直近は寒波や昨年産の粗飼料の影響で生乳生産量が落ちているが、頭数も増えていることから、需給緩和も注視しつつ、生乳生産量を増やしていきたい。

（中央酪農会議）

- ◆ 地域別に見ると北海道の生乳生産量は増え、都府県は減るとみているが、J ミルクの予想よりも上振れする可能性もある。全体として頭数は増え、生乳生産量も増えていくだろう。引き続き、需給が混乱しないよう安定供給する。

（日本アクセス）

- ◆ バターは販売量も価格も安定している。現在の需給バランスを保っていただければと思う。

（日本菓子協会連合会）

- ◆ 昨年は安定して供給されたが、年末の最需要期に、一部の店舗で十分に供給されなかった事例があったと聞いている。生乳生産量が増加するとの説明がある一方、本年度の需給見通しで年度末在庫量が 90% を切るなど不安定要素もあり、今後の動向を注視していきたい。

（全国菓子工業組合連合会）

- ◆ 昨年末は十分供給いただき、結果的には不足したという声はなかった。ただし、一時的には納入業者から全量を供給できないと言われた時期もあり、関係者に不足懸念があったのではないかと。実需者としても国産を求める声が強くなり、増産を是

非お願いしたいが、不足懸念が生じないように安定供給第一で対応していただきたい。

(全日本洋菓子工業会)

- ◆ 猛暑や地震の影響を心配したが、昨年末のバター供給は全く問題なかった。ここ数年安定して供給されており、このような会議が奏功していると思う。今後、国内の生乳生産量が増えてくると、国産バターを求める声は増えると思われる。

(日本パン工業会)

- ◆ 昨年は安定してバターを確保できたと聞いている。国産バターについては、バラにしわ寄せがきていることから、今後の生乳の増産に期待している。

(日本乳業協会)

- ◆ 来年度以降も安定供給に努めてまいりたい。

(Jミルク)

- ◆ TPP や EPA と行った民間貿易が始まるので、情報を適宜的確に把握し、提供していきたい。

(以 上)